

テンダーヒル御所 第1回「小さなよっしゃ大賞」選考結果

2020年2月27日

1. ご利用者に背中を押されて「よっしゃ」賞	
投稿者	A様
プロフィール	テンダーヒル御所みのり館 ケアワーカー 2018年入職
内容	<p>入居者のYさまに「便が出そうなのでトイレに行きたいねん」と申し訳なさそうな顔で頼まれた。自分はケアヘルパーで身体介護は直接には担当しないので、ケアワーカーがトイレ介助を行う際にお手伝いをさせていただいた。</p> <p>Yさまは気持ちよさそうに用を足され、「ありがとう～」と仰ってくださいました。</p> <p>ケアヘルパーだった自分は、ワーカーになりたい気持ちはあるけれど、資格も経験もなく年齢も50歳を過ぎていて、「今からじゃ無理かも・・・」と思っていたが、このときのYさまの笑顔とたくさん出た便を見たときに、単純に「うれしい」と思えて、ワーカーになる決心がつきました。</p> <p>いまワーカーの仕事ができることが楽しく、これからは「よっしゃ！」を増やしていきたいと思っています。</p>
評	<p>トイレ介助というと、介護を知らない人にはただ汚い仕事と思われるかもしれませんが、でもその場面で、ご利用者の気持ちよさそうな笑顔とたくさん出た便が、ワーカーになりたいけど踏み切れずにいる背中を押してくれました。</p> <p>「うれしい」という、ごく単純な気持ちが勇気をくれた「よっしゃ」です。</p>
2. とびきりの笑顔で「よっしゃ」賞	
投稿者	B様
プロフィール	テンダーヒル御所みのり館 ケアワーカー 2005年入職
内容	<p>M様は最近、精神的に不安定な状態が続いており、苦しそうだった。</p> <p>フロアに出られる機会も減り、笑顔も見られなくなっていた。</p> <p>そこで2月2日の午後、節分の気分を味わっていただきたくて、カラオケや豆まきでフロアを楽しく盛り上げた。</p> <p>たくさん笑顔の写真を残したくて、カメラのシャッターを押した。</p> <p>イベントが終わって写真を見ると、とびきりの笑顔のM様の姿が写っていた。</p> <p>久しぶりに見た笑顔に、「よっしゃ！！」と感じた。</p>
評	<p>笑顔が見たい、笑顔になってほしい。ただそれだけの思いから、フロアを盛り上げM様の笑顔を探してシャッターを押す様子が目に浮かびます。</p> <p>人が人を思い、支えたいと願う。福祉の原点のような「よっしゃ」です。</p>
3. ピンチをチャンスに逆転「よっしゃ」賞	
投稿者	C様
プロフィール	デイサービスセンターあるもに 管理栄養士 2019年入職
内容	<p>年末年始につかう牛乳を発注しすぎてたくさん余ってしまい、しかも賞味期限が迫っていてダメにしてしまうところでした。寒天もたくさんあったので、それを使って牛乳寒天を作り、デイサービスやグループホームのご利用者に食べていただきました(砂糖は控えめです)。</p> <p>召し上がったご利用者からは「あっさりしておいしい」「もっと食べたい」と言ってもらえました。</p> <p>注文しすぎて、しかも賞味期限を切らしそうになって落ち込みかけていたのですが、そのようなお言葉をいただき、作ってよかった。よっしゃ！と思いました。</p>
評	<p>危うくたくさん牛乳を無駄にしてしまうところを、牛乳寒天にして美味しく食べてもらおうという逆転の発想。しかも所属する部署だけでなく、ご利用者みんなに楽しんでいただこうと周囲を巻き込んだところ。新卒1年目とは思えない発想の柔軟さは、ご利用者のためになることをしたいという思いから出た、素直にたのしい「よっしゃ」でした。</p>

4. パーソンセンタードの個別ケアで「よっしゃ」賞	
投稿者	E様
プロフィール	グループホームきつとうど ケアワーカー 2008年入職
内容	<p>退院後、介助により立位が取れるまで回復し、本人の希望でオムツからトイレ介助に戻すことにしたが、痩せて仙骨の突出部が便座に接触し、座ってすぐに「痛いから立たせて」となった。車イスに戻るとまたすぐに「トイレに座りたい」と仰るも、介助されることを嫌がり、安心してトイレに行くことができにくくなっていた。そのためか尿が出にくくなり、医師から検尿の指示が出たがそれも拒否された。そこで便座にすわってゆっくり排泄できるように、バスマットを便座に敷いて痛みを和らげ、次に100均商品を組み合わせることで手作りした採尿器具(命名「おしっこれたよ」)をセットして、ご本人が気づかないうちに採尿と尿量測定ができた。その瞬間、私は「よっしゃ」と思いました。</p>
評	<p>この人の痛みを少しでも和らげたい、楽に過ごしてもらいたい。その思いが便座にバスマットを敷くことや「おしっこれたよ」の発明に繋がりました。人としての思いやりと介護職の専門性と長年の経験の合わせ技。これぞ利用者中心の個別ケア、の「よっしゃ」です。</p>
5. どんな名医よりもよく効く言葉の「よっしゃ」賞	
投稿者	D様
プロフィール	テンダーヒル御所本館 クリーンスタッフ 2013年入職
内容	<p>特養のご利用者の使われた「らくのみ」を回収していたときのこと。 ご利用者のT様はいつもきれいにお化粧をしたりおしゃべりしたりしておられるのですが、「特養に入ってこんなこと(おしゃべりなど)して・・・と思われてないかなあ」と悩んでおられたので、「特養に入居されていても、いつもきれいにしておられることが、私にとっては憧れで目標なので、ずっと続けてほしいです」と答えました。 「どんな名医に診てもらおうより心が楽になった」と言ってくださいました。</p>
評	<p>クリーンスタッフはご利用者と関わるのがあまりない仕事と思われがちですが、こんなに心を通わせることができる仕事だったんですね。 「言葉の介護力」を信じさせてくれる「よっしゃ」でした。</p>